

「すてきな森」 作：おにっ子児童クラブ



すてきな森

①昔、ある所に、動物達が仲良く暮らしている森がありました。ある日、くまのクーくんとうさぎのミミちゃんは、森の広場で運動会の練習をしていました。

(うさぎ)「クーくん、のどがかわいたから川にいこうよ？」

(くま)「うん、行こう。」二人が川に行くと、

(うさぎ)「あれっ、水が少なくなってる！」

(くま)「本当だ。あっ、お魚さんたちが！」

クーくんの指差した水たまりの中では、魚達が苦しそうにいました。二人を見つけると、

(さかな)「助けてー。水も食べ物もないよ！」



② ミミちゃんとクーくんは、何でも知っているものしりじいさんの所に相談に行くことにしました。

(くま)「最近、森の食べ物も少なくなってきたね」

(うさぎ)「わたしなんて苦い草しか食べてないのよ」

二人はものしりじいさんの所にいくと

(二人)「おじいさん川や森から食べ物が少なくなってるんだ。何かあったのかな？」

(おじいさん)「うーむ。悪いがわしのかわりに海まで様子を見に行ってくれんかの？」



③ 二人は、海に行くことにしました。

(うさぎ)「何で、海を見に行くのかな？」

(くま)「おじいさんが言うのだから何か考えがあるんだろうね」しばらく歩くと海に着きました。

海の水はとてにごっていて、魚達の姿を見つけることができませんでした。

(二人)「だれかいませんか？」何度か呼びかけると、小さな声で、

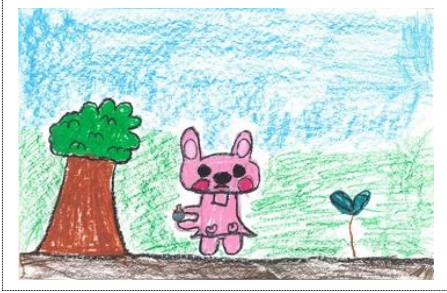
(さかな)「ここだよ助けておくれ。もうおなかぺこぺこだよ」

海でも食べ物はなくなっていたのです。それを知った二人は、急いでおじいさんのところに戻り、海の様子を伝えました。



④ ものしりじいさんは、二人の話をうなずきながら静かに聞いていました。ものしりじいさんはしばらく考えた後、

(おじいさん)「森と川、海は大昔から関係があるのじゃ。森から流れ出る水は、魚達の食べ物と一緒に川や海に流れていく。手入れされていない弱い森じゃと川や海まで弱くなってしまうじゃ。そういえば、長い間この森も手入れされてないのー。」

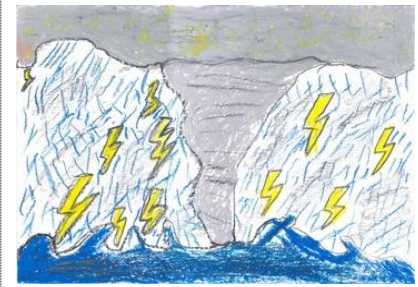


⑤ 二人はしばらく考えました。

(うさぎ)「そうだ、森を守れば川も海も守れるかも」

(くま)「森のみんなと一緒に森を守ろう」二人はさっそく仲間を集めました。ミミちゃんたちは木を植える木の実を集めました。クーくんたちは、木や岩を動かして水の流れる道を作りました。森は、みんなのおかげでみるみるうちに元気になっていきました。魚達も喜んでいました。

(さかな)「森のおかげで、ご飯がおいしいよ」



⑥ その頃、はるか遠くの海のほうでは、ぶきみな大きな雲ができていました。そして、そのぶきみな雲は大雨を降らせ、強い風をふきながら次々に近くにある森をおそってきました。そして、とうとうミミちゃんとクーくんの住んでいる森に向かっていったのです。このぶきみな雲が近づいていることに、ただ一人、ものしりじいさんだけが気づいていました。



⑦ ものしりじいさんは、ミミちゃんとクーくんを呼びました。

(ものしりじいさん)「もうちょっとで大きな嵐がここにくる。急いでわしのそばに隠れるのじゃ」

ミミちゃんとクーくんは、おじいさんの中に隠れました。

空の色がだんだん変わっていき、風も強くなってきました。

二人は怖くてガクガク震えていました。



⑧ ミミちゃんとクーくんは疲れていたのか眠っていました。

(うさぎ)「うーん。あれ、ずいぶん静かね。クーくん、起きて。」

(くま)「ふあー。ミミちゃん、どうしたんだい。」

(うさぎ)「外が静かなの。おじいさんもう外に出ても大丈夫?。」

(おじいさん)「・・・」

(二人)「おじいさんどうしたの?。」

二人はそう言ってこわがりながらも外に出ました。

(二人)「おじいさん！おじいさん！」ものしりじいさんは、最後の力ふりしぼり嵐に立ち向かい森のみんなを守ったのです。



⑨ 森のみんなはとても悲しみ、泣いていました。その時、ミミちゃんが、言いました。(うさぎ)

「クーくん、あれを見て」ものしりじいさんの倒れていた場所に、水色の木の実が落ちていました。クーくんは、水色の実をそっとひろい、

(くま)「この実はきっと、おじいさんだ。この実を、おじいさんのいた場所に植えようよ。」ミミちゃんとクーくんは、さっそく水色の実を植え、お世話をしました。



⑩ 嵐がすぎさってから百年がすぎました。ある夜のこと、

(うさぎ)「クー太郎、知ってた。大昔、この森にとても大きな嵐がやってきたんだって。その時、ものしりじいさんが森のみんなを守ってくれたんだよ。」

(くま)「へー。そうなんだ。メメちゃん、おなかがすいたね。そろそろお家に帰ろうよ。」二人が立ち上ろうとしたとき、どこからか小さな声が聞こえてきました。

(・・・)「よくがんばったね。立派な森になったよ。」

川では、小さな魚達が飛びはねています。